

## 【研修報告】科学的介護情報システム(LIFE)について

科学的介護情報システム（LIFE）の研修会を5月8日（水）に行いました。  
LIFEとは、厚生労働省が全国の介護サービス利用者の状態や介護計画・内容についてのデータを収集し、蓄積したデータに基づいて評価（フィードバック）を行うシステムです。

LIFEの目的は、利用者の方の生活の質向上と介護保険費用の適正化を目指す事です。フィードバックは、自施設のケア方法や利用者の方のケア計画の見直しに活用することができます。評価を重ねていくことが職員個人のスキルアップや、施設全体の介護力の向上にも繋がります。

また、利用者の方や家族に対し、ケアの内容や目標の説明に活用することができます。数値化して伝えることができるため、より根拠のある介護サービスを提供することができるようになります。

現在は、サービス担当者会議にてLIFEのフィードバック表を基に、利用者の方にどのような状態の変化があったか、今後どのように支援をしたら良いか等を多職種で話し合っています。

今後も、LIFEのフィードバックを活用したケアが提供できるよう施設全体で取り組んでいきます。

